

〔水 稲〕

1. 作付の概況

九州における平成21年度の水稲作付面積（青刈り面積除く）は、18万9,800haで、前年産並みであった。品種毎の作付状況を見ると、ヒノヒカリの割合が、佐賀県では大きく減少したものの、九州の作付品種の50%（前年は53%）を占め最も多く、次いでコシヒカリ13%（同13%）で、両品種で63%（同66%）の作付面積であった（いずれの品種割合とも、長崎県のデータは除く）。

2. 作柄の概況

九州における平成21年産水稲の収穫量は、96万700tで、前年とほぼ同様であった。これは、作付面積と10a当たり収量が、ほぼ同様であったためである。

九州平均の作柄は、作況指数101の「平年並み」で、10a当たり収量は506kgであった。九州沖縄の県別の作況指数は、沖縄県が99で、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県が100、長崎県が101の「平年並み」で、鹿児島県が103、宮崎県が104の「やや良」であった。

3. 生育の概況

1) 普通期水稲

6月下旬から7月上旬および7月下旬の日照不足により、穂数は「やや少ない」ないし「少なく」なったことから、九州各県とも㎡当たりもみ数も「やや少ない」ないし「少なく」なった。田植時期は平年並みないし3日遅く、出穂期も平年並みないし3日遅れとなった。

出穂期以降天候に恵まれ、台風の襲来もなかったことから、九州各県とも登熟は「やや良」ないし「良」となった。また、刈り取り時期については、「平年並み」ないし2日遅れとなった。玄米品質については、1等米比率が九州全体で60%と、平成15年以来初めて50%を上回ったものの、全国平均の85%を大きく下回った。分けつ期の日照不足により初期生育が抑制されて出穂後の葉色低下が少なかったことや、出穂後20日間の平均気温が白未熟粒の発生目安と言われる26℃前後で高くなかったことも影響したと思われる。2等以下への格下げ理由としては、充実不足が最も多く48%で、次いで着色粒（カメムシ類）16%、心白・腹白粒11%であった（12月末現在）。

2) 早期水稲

主産県の作柄は、宮崎県が10a当たり収量517kgで作況指数109、鹿児島県が同466kgで作況指数106で、ともに「良」であった。

宮崎では、田植え期以降概ね天候に恵まれ、穂数は「やや多く」、1穂籾数も「やや多く」、㎡当たり籾数も「多く」なった。鹿児島では、4月下旬の低温により分けつ発生が抑制され、穂数は「やや少なく」なったが、1穂籾数が「やや多かった」ことから、㎡当たり籾数は「平年並み」となった。登熟は、出穂期以降概ね天候に恵まれ、台風の襲来もなかったことから、宮崎では「平年並み」、鹿児島では「良」となった。また、1等米比率についても、60%から70%と、平年より10ポイント高かった。

4. 被害の概況

水稻の被害面積は50万7,300haであり、被害総量は10万8,500tで、被害率は11.4%と、平年を0.9ポイント下回った。被害種類別に見ると、台風被害など風水害は0.7%と平年を2.7%下回ったものの、日照不足が5.9%と多くなり、これらをあわせた気象被害については、平年を0.1ポイント上回った。一方、病害は2.7%で1.4ポイント少なく、カメムシなどによる虫害は1.9%で0.2ポイント上回った。作期別にみると、早期水稻では気象被害および病虫害の発生は少なく、被害は平年より少なく、普通期水稻では、分けつ期の日照不足はあったものの、病虫害の発生は少なく、被害は平年並みであった。

九州沖縄農業研究センター 暖地温暖化研究チーム 北川 寿

2009年産水稻の収穫量

区分	作付 面積 (ha)	10 a 当たり 収量 (kg)	収穫量 (t)	作況 指数	前年との比較					
					作付面積		10a当たり収量		収穫量	
					対差 (ha)	対比 (%)	対差 (kg)	対比 (%)	対差 (t)	対比 (%)
九州計	189,800	506	960,700	101	△ 800	100	△ 2	100	△ 8,000	99
福岡	39,400	499	196,600	100	△ 200	99	△ 2	100	△ 1,800	99
佐賀	26,900	527	141,800	100	0	100	10	102	2,700	102
長崎	14,100	479	67,500	101	△ 200	99	△ 1	100	△ 1,100	98
熊本	39,700	515	204,500	100	0	100	△ 7	99	△ 2,700	99
大分	24,800	502	124,500	100	0	100	△ 17	97	△ 4,200	97
宮崎	20,200	514	103,800	104	△ 200	99	3	101	△ 400	100
鹿児島	24,700	494	122,000	103	△ 200	99	2	100	△ 500	100
沖縄	943	306	2,890	99	△ 67	93	△ 7	98	△ 270	91

注) 資料：平成21年産水陸稲の収穫量（2009.12.08，農林水産省大臣官房統計部）
△は減少を示す。